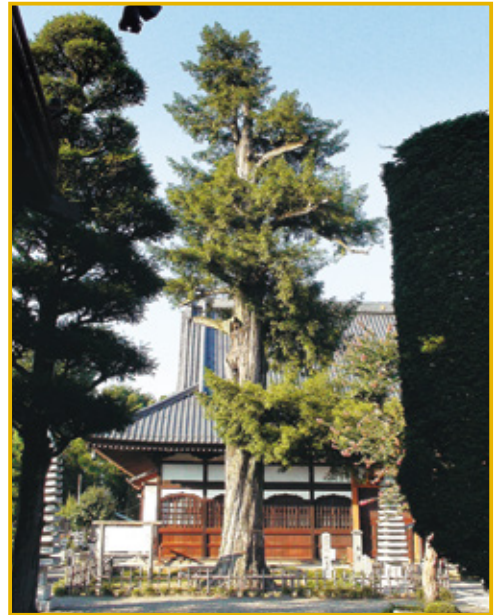


故事、伝承等 (カヤの木、モクの木、五輪桜)

カヤの木

群馬県指定天然記念物 樹齢五百年
1952年(昭和27年)11月11日指定

- 仁叟寺は室町時代の大永2年(1522年)に創建され、境内には貴重な数多くの文化財を護持している。当寺に伝わる500年の歴史を有する寺宝として本堂、本尊釈迦如来、天宮の古井戸そして初代住職(開山)お手植えのカヤがある。このカヤは実が左巻きという珍しいもので、天宮様の宿り木といわれ、火防のご神木として知られている。明治22年の地租改正による土地測量の時、多胡村の測量基準点となった。樹高 22m 幹周 4.8m。
- 落雷により樹勢が衰え、平成元年に樹木医指導のもとに腐朽部除去や土壌改良などの樹勢回復工事を行った折、空洞の中に白い羽毛のミミズクが生息しており、白蛇もいたという。今では枝が徐々に伸びてようやく実がなるほどまでに回復した。
- カヤ(イチイ科カヤ属)は常緑高木で高さ25m、直径2mほどになる。樹皮は灰白色、縦に薄く割れ、繊維状に細かく剥がれ落ちる。葉は線形、先は鋭くとがり触れれば痛い。種子は開花した翌年の9月に熟す。緑色の仮種皮が種子を包み込み、種子から取れる油は食用・頭髪用になる。雌雄異株。



カヤの木



モクの木

モクの木

高崎市指定天然記念物 樹齢三百五十年

境内には高崎市天然記念物の「モクの木」と称されるムクノキの巨木がある。樹齢350年、双幹であるが幹基部には大きな空洞があり、空洞内には不定根が発生して下垂し地中に埋没している。

五輪ザクラ

高崎市指定保存樹木 樹齢約百年

境内北側には高崎市保存樹の「五輪桜」といわれる桜があり毎年3月下旬に濃い紅色の花が咲く。樹齢約100年、品種はコヒガンザクラである。地中より五本の幹が立ち上がった大変珍しい形態の桜である。



五輪桜